

平成29年度 吹奏楽指導支援事業

愛知県吹奏楽連盟

1 事業の趣旨

近年、小中学校、高等学校には新規採用教員の数が増えています。吹奏楽指導に携わる教員も指導が未経験あるいは経験が浅い若い方が増えています。この若い指導者は、熱意はあるものの現場で日々の吹奏楽指導・運営等に悩み、困っているのが現状です。

そこで、愛知県吹奏楽連盟ではこの現状を少しでも改善するため、若くて経験の浅い指導者の学校に吹奏楽指導に経験豊富な指導者を派遣する事業を展開していきます。

そして、「愛知県吹奏楽連盟 吹奏楽指導者人材バンク」をさらに充実させることで、経験豊富な吹奏楽指導者を確保していくようにします。

2 事業の進め方

(1) 吹奏楽指導支援事業：

この事業は愛知県吹奏楽連盟セミナー委員会講師派遣事業担当が事務局を担当する。

(担当者：斎藤和憲、永長昭彦、鰐部正司、後藤 治 他)

(2) 愛知県吹奏楽連盟 吹奏楽指導者人材バンクの充実：平成29年3月～4月

愛知県内に在住の経験豊富な吹奏楽指導者に講師に登録してもらい、派遣する講師を確保する。

(3) 講師派遣校の推薦および検討・決定：平成29年4月～5月

①各支部の事務局の先生から学校の指導者の意志を尊重してその地区での講師派遣候補校を推薦してもらおう。(中・高あわせて3～4校程度)

②事務局で検討して希望する学校にはできるだけ講師を派遣する。(県内40校程度)

(4) 派遣講師の決定：平成29年4月～5月

愛知県吹奏楽連盟 吹奏楽指導者人材バンクの中から学校へ派遣する講師を決定する。

①派遣する講師に関わる交通費等の必要経費は愛知県吹奏楽連盟が負担する。

②原則として受講する学校が所属する支部に所属する講師を派遣する。

(5) 派遣事業開始：平成29年5月～7月

①初回の派遣については事務局が仲介する。

②2回目以降については、顧問と講師で日時を決定する。

③講師は、実施報告書等を事務局に提出する。

④実施後に愛知県吹奏楽連盟から交通費等必要経費を支給する。(2回分)

⑤2回程度派遣し、以後については派遣校の意向を尊重する。

(6) その他

①愛知県小学校管楽器教育研究会との連携事業一環として年間を通して小学校へ講師を派遣する。

②後期(平成29年10月～平成30年3月)に希望があれば考慮する。

愛知県吹奏楽連盟 吹奏楽指導者人材バンクの充実と活用

(1) 経験豊富な吹奏楽指導者の発掘

愛知県内に広く呼びかけてこの事業の指導者としてふさわしい先生方をリストアップしていく。

(2) 人材バンクへの登録の依頼・了解・委嘱

リストアップした先生方にこの事業の趣旨を理解願って人材バンクへの登録を依頼して了解していただければ、愛知県吹奏楽連盟で文書にて講師の委嘱を行う。

(3) 愛知県吹奏楽連盟 吹奏楽指導者人材バンク登録の講師の任務

①「支援の必要な吹奏楽指導者のための講師派遣事業」の専属講師

平成21年5月から取り組むこの事業の講師として依頼を受けた学校へ指導に出向く。：5月～7月まで2回程度

※交通費等必要経費は愛知県吹奏楽連盟が負担する。(1校2回まで)

※コンクール後もその学校から依頼があれば前向きに検討する。

②愛知県内の各支部で開催される各種講習会の講師や実践発表等の発表者

※交通費等必要経費は、愛知県吹奏楽連盟が負担する。

③愛知県内で開催される各種コンクールやアンサンブル・コンテスト等の審査員

現在、開催されている各種コンクールやアンサンブル・コンテスト等の審査員として依頼していく。尚、審査料については財政事情を勘案して決定する。

④その他、愛知県吹奏楽連盟の活動の中で

愛知県吹奏楽連盟の活動の中で人材バンクに登録された各先生の優れた能力を生かすことができる場があれば積極的に活用していく。

- <例>
- ◎ 指導者講習会等の講師
 - ◎ 各理事会や常任理事会での研修(実践発表等)
 - ◎ 指導者を必要とするジュニアバンド・市民バンドなどへの派遣
 - ◎ 加盟団体の演奏会での客演指揮

(4) 愛知県吹奏楽連盟 吹奏楽指導者人材バンクについて

- ◎ 愛知県吹奏楽連盟で一覧表を作成した。今後も適任者がいれば加えていく。
- ◎ 原則として学校に指導にいていただくのでスクールバンドを指導して実績をあげた方を中心に依頼している。(大学職場一般の指導者の方にもお願いしている。)
- ◎ この指導者を積極的に今後の愛知県吹奏楽連盟の活動に活用するようにしていく。
- ◎ 講師の方で愛知県吹奏楽連盟の事業のサポートをしていただく。